

議会市民懇談会報告書

平成28年4月28日

山陽小野田市議会議長 尾山信義 様

総務文教常任委員長 河野 朋子
一般会計予算決算常任委員長 伊藤 實

平成28年4月18日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成28年 4月18日 (月) 18:30 ~ 20:48

2 開催場所

埴生公民館

3 申請団体等名称

西側自治会外

4 参加人数 (市民)

22 人

5 テーマ

埴生公共施設再編に関する問題点

6 担当議員名

(河野朋子) (中島好人) (大井淳一郎) (岡山 明)
(河崎平男) (笹木慶之) (伊藤 實) (小野 泰)
(下瀬俊夫) (中村博行) (松尾数則) (矢田松夫)

7 懇談会次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 議員代表挨拶
- (3) 懇談会の進め方、注意事項説明
- (4) 意見交換(複合施設建設地、公共施設の跡地対応、複合施設建設の今後の展開)
- (5) 議員代表による感想
- (6) 閉会挨拶

8 意見交換の主な内容

(市民) 小学校の移転は決定か。

(議員) 予算を承認したので決定である。

(市民) 適正通学(通学距離・通学時間)の基準から外れる子もいるかもしれない。

(議員) 埴生小中連携校に行ったら良かったと言われるように議会からもしっかり提案していきたい。

(市民) 児童館と児童クラブの違いは何か。

(議員) 児童館は子供が交流できる施設、児童クラブは留守児童を預かる施設である。

(市民) まちづくりのビジョンについて。現在提案されている場所では狭すぎるのでは。

(議員) 提案された場所は、ここがまちの中心という考え。しかし駐車場がない。また大きな問題として新たに土地を6,000万円で購入する。市の土地があるのに、なぜ新たに購入するのかという意見もある。

(市民) 市は平成25年夏に公共施設再編に係るアンケートを取った。市長はこれを下敷きにして意見交換会を14回行ったと言っているが、実際は下敷きにされていない。あの意見交換会はやり方が下手である。西側自治会は条件を5つ出した。全ての条件を満たす候補地は、山陽オートの駐車場である。今回の修正可決をみて、議会は行政のチェック機関として非常に有効な機能を果たしている。小学校の移転も跡地の利用などストーリーを決めてからやるべきではないか。

(議員) 全く計画はない。

(市民) 母子センターの草刈など困っているが、小学校の跡地も同じ問題が起きるのでは。何かするよう行政に働きかけてほしい。(要望)

(市民) 小学校を中学校に持っていく話は賛成多数。西側自治会は反対。PTAも反対。まちのほうは人数が多いので話がどんどん流れる。逆に中学校を小学校に持って

きたらよい。小学校は土地が広いのでお金が掛からない。

(議員) ごもつともだと思う。しかし埴生小学校は耐震工事ができていない。早くしないといけない。時間的なことを考慮した中での苦渋の決断である。

(市民) 小学校が移転した場合に、避難場所はどこに行ったらよいか。

(議員) 計画が全くない。示されていない。

(市民) 小学校のグラウンドの南下の側溝の問題。大雨が降ると被害がある。

(議員) 正式な視察を行う。請願か陳情を出すべき。

(市民) 複合施設建設の今後の展開について。

(議員) 4月21日に委員会を開催し、財源について詳しく調査する。

(市民) 小学校の跡地利用について、病院がないので病院などを建ててほしい。(要望)

(市民) 市長が委嘱して行うような設立委員会は立ち上がらなかったのか。

(議員) 自由参加で有志を集めて行われた。私たちも経験したことはない。

(市民) 複合施設の問題で、ある団体が自治会長の印判があるものを持って行ったが、それで場所が決まるのか。

(議員) 要望書で決まることはない。

(市民) 合併特例債の条件は。

(議員) 公民館、支所、青年の家、児童クラブなどを一緒にすること。

(議員) 青年の家の跡地に対しての災害に対する恐怖は本当なのか。

(市民) 危ないと言う人は、西側自治会にはいない。高潮のために青年の家が駄目だと言う人は少数である。

(市民) 堤防は枕崎台風並みの台風が満潮時に来ても大丈夫な高さに作られている。青年の家がおばけ屋敷のようになっているので、青年の家に移転してもらえれば、小野田のほうの人の理解も得られる。(意見)

(議員) なぜ皆さんは14回の意見交換会に行かなかったのか。

(市民) 最初に行ったときに、小学校を中学校に持っていくことが前提であり、まちの人の人数が多かった。西の自衛隊の人が、子供が通うのが大変だと言ったら、賛成、反対で手を挙げてくれと。するとまちの人が大きな声で中学校に持ってきてくれ

と言った。市長も大半の人も移すという意見で、これは言っても駄目だなと思った。市長がその気になってるのだったら話しにならない。日にちがないとか、予算がどうか、図面まで出して土地の買収に掛かっているとされた。最初から話が決定に向けての話だったから、聞いても仕方がないと次から行くのをやめた。

(市民) 少数意見と多数意見の問題である。現在の予定地は、今の生きている人たちには非常に便利がいい。この施設は30年、40年使う施設である。30年後にここにいる人間は誰もあそこに行かない。(意見)